

府養研ニュース

2005年10月号

平成17年10月2日発行 大阪府養護教育研究会(広報部)事務局
柏原市立国分中学校 会長 多根井 次朗 〒582-0021 柏原市国分本町7-1-20
問い合わせ・ご意見は、Mailで本部役員まで fuyouken@visithp.jp

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

特別支援教育の動向、関連リンク紹介などの各種情報をご覧になれます。

ニュースの全部とバックナンバー、講演会案内、報告がご覧になれます。

府養研ニュースは毎月Eメールで配布されています。来月11月は7日(第1月曜日)発行予定です。

一部メール網がまだ整備中もしくは検討中の市町村は、郵送または遞送されています。

支部役員総会 第3回 2006年1月12日(木) 会場は アウィーナ大阪

研究部から

自閉症教育 プロジェクト 事例研究 案内添付 申し込み不要	2005年10月15日(土)高津ガーデン テーマ「小学校と中学校の連携についての事例による考察」 小学校在学中から進学に際してできること、そして中学校入学後にできることなどについて 報告者 豊中市立東豊中小学校 坂下和子 豊中市立第十五中学校 平松裕子 コメント アクトおおさか 新澤伸子
申し込み必要 N I S E 自閉症教育実践 セミナー	2005年10月21日(金)大阪府教育センター http://www.nise.go.jp/soumuka/kikaku/katsudo/projects_project1-4.html NISE 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 「養護学校等における自閉症を併せ有する幼児児童生徒の特性に応じた教育的支援に関する研究 - 知的障害養護学校における指導内容, 指導法, 環境整備を中心に - 」
自閉症教育プロジェクト 今後の予定	事例研究会 2005年12月3日(土) シンポジウム 2006年2月4日(土)

行事部から

2006年1月に行う予定の府教委障害教育課・府教育センター障害教育グループとの懇談会に向けて、特別支援教育を推進するための制度の在り方について(答申素案)を元に懇談会内容を検討中

研修部から

<p>教育講演会</p> <p>現場の実情を踏まえて</p>	<p>2006年2月2日(木)大阪府教育センター大ホール</p> <p>行動障害の子供たちの理解と対応(仮題)</p> <p>関わる人たちの共通理解と一致した対応を求めて</p> <p>講師 兵庫教育大学助教授 井上 雅彦</p> <p>(府養研テーマ別研修で好評の・・・)</p>
--------------------------------	--

大教大附属養護から

<p>大阪教育大学附属 養護学校記念大会</p> <p>二次案内添付</p>	<p>大阪教育大学附属養護学校創立40周年記念研究大会</p> <p>2005年11月4日(金) 9時30分～16時30分</p> <p>「暮らし」に生きるよりよい支援のあり方をさぐる ～「個への支援」の具体化についての実践報告～</p>
--	---

他団体から

<p>全特連 愛知大会</p> <p>申し込み必要</p>	<p>第44回全日本特別支援教育研究連盟全国大会 愛知大会</p> <p>2005年10月26日(水)27日(木)28日(金)</p> <p>・シンポジウム/・記念講演 トヨタ自動車の現状と課題 ～人づくりを中心に～</p> <p>・24分科会 内容は右 URL http://ngy.sohos.ne.jp/~zentokuren</p>
<p>TEACCHプログラム研究会 大阪支部公開講座</p> <p>案内添付</p>	<p>高機能自閉症者の理解と支援 ～青年・成人期の支援～</p> <p>講師: 服巻智子</p> <p>(NPO法人それいゆ・それいゆ自閉症支援専門家養成センター長)</p> <p>2005年11月12日(土)14:00～16:30</p> <p>事前申し込み不要。直接会場へお越しください。</p> <p>堺市総合福祉会館6F大ホール 会費: 会員500円/非会員2000円</p>
<p>全国LD親の会 近畿ブロック講演会</p>	<p>発達障害のある人の人権について考える - 現状とこれから -</p> <p>2005年11月19日(土)13時00分～15時15分</p> <p>キャンパスプラザ京都 4階 第2講義室</p> <p>講師 野沢和弘</p> <p>定員: 250名 参加費: 800円</p> <p>詳細は http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/2005/0172.html</p>
<p>NPO法人生活支援 センターあすく 特別講演会</p>	<p>高機能自閉症・アスペルガー症候群</p> <p>“なぜ支援するのか、どう支援するのか”</p> <p>講師 吉田友子(よこはま発達クリニック・ペック研究所 児童精神科医師)</p> <p>日時: 2005年11月6日(日)9:30～12:00</p> <p>会場: キャンパスプラザ京都 参加費: 2000円</p> <p>案内申し込みは http://web.kyoto-inet.or.jp/org/atoz3/ask/kouen051106.html</p>

府養研ホームページ情報コーナーもご覧ください。

<http://fuyouken.visithp.jp/joho01.htm>

平成17年9月15日

学 校 長 様
養護教育関係者 様

大阪府養護教育研究会
会長 多根井 次朗

府養研研究部・自閉症教育プロジェクト事例研究会のお知らせ

平素は本研究会に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。さて、府養研・自閉症教育プロジェクトによる事例研究会を下記のとおり行ないますので、ご案内申し上げます。

つきましては、貴校の養護学級担当をはじめ、通常学級担当の先生方にも多く参加していただけますようによろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 平成17年10月15日(土) 午後1時30分～午後4時30分

2. 場 所 大阪府教育会館(高津ガーデン)3階ロース

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7番11号

Tel. 06-6768-3911

地下鉄谷町線谷町九丁目駅下車徒歩10分、近鉄奈良線・大阪線上本町駅下車徒歩5分

3. テーマ 『小学校と中学校の連携のあり方について

～事例による考察～』

4. 報告者 豊中市立東豊中小学校教諭 坂下和子先生(養護学級担当)

豊中市立第十五中学校教諭 平松裕子先生(養護学級担当)

コメンテーター アクトおおさか所長 新澤伸子先生

知的障害を伴わない自閉症児の小学校から中学校への進学に当たり、それぞれの担当者はどのような点を大切にして引継ぎを行なっていけばいいのでしょうか。小学校在学中から進学に際してできること、そして中学校入学後にできることなどについて、小学校と中学校のそれぞれの立場から、具体的な事例を通して考えていきたいと思えます。

参加申し込みはいりません。当日会場にお越しください。

問い合わせは、府養研・自閉症教育プロジェクト事務局まで

(事務局) 堺市立百舌鳥養護学校 Tel. 072-252-3081 金井孝明まで

あるいは E-mail DQG05305@nifty.ne.jp (金井宛)まで

教育講演会ご案内

行動障害の子供たちの理解と対応(仮題)

関わる人たちの共通理解と一致した対応を求めて

講師 兵庫教育大学助教授 井上 雅彦

「特別支援教育」を考える上で、子どもたちをどう理解しどんな対応をするのか、校内の体制を含めて具体的な提案が求められています。子どもたちに関わる全ての人たちが共通理解の上に立った対応をしていくために、今何が必要でしょうか。子どもたちの問題行動への対応を考えることを通して、まず一步を踏み出して行きたいものです。

日々養護学級、養護学校で奮闘されている先生方、特別支援教育に関心を寄せておられる方々に、現場の実情を踏まえての今講演で、大きい示唆が得られることと思います。

多数のご参加をお待ちしています。

2月2日(木) 14:30~

大阪府教育センター大ホール

(地下鉄御堂筋線あびこ下車徒歩10分)

お申込みの必要はありません。駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください。



「くらし」に生きるよりよい支援のあり方をさぐる ～「個への支援」の具体化についての実践報告～

研究大会 ご案内

主催 大阪教育大学附属養護学校
大阪教育大学障害教育講座
後援 大阪府教育委員会
大阪市教育委員会

ごあいさつ

拝啓 初秋の候 皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素から本校の教育活動にあたたかいご支援、ご指導を賜りまして誠にありがとうございます。厚くお礼を申し上げます。

「特殊教育」から「特別支援教育」への転換期となるこの時期に、本校は創立40周年の節目を迎え、創立以来大切にまいりました理念を確認し、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるため、『「くらし」に生きるよりよい支援のあり方をさぐる～「個への支援」の具体化についての実践報告～』をテーマに、大阪教育大学障害教育講座との共同により研究大会を開催する運びとなりました。

皆様方におかれましてはご多用とは存じますが、多くの方にご来校いただきご指導を賜りますようご案内を申し上げます。

敬具

平成17年9月吉日

大阪教育大学附属養護学校 校長 藤田裕司
大阪教育大学障害教育講座 教授 守屋國光

～研究大会 要項～

主題

「くらし」に生きるよりよい支援のあり方をさぐる
～「個への支援」の具体化についての実践報告～

期日

平成17年11月4日（金） 第I部、第II部 9:30～16:30

会場

大阪教育大学附属養護学校
〒547-0027 大阪市平野区喜連4丁目8番71号
電話 06-6708-2580・2590
ファックス 06-6708-2380
ホームページ <http://www.fuzoku-se.oku.ed.jp>

日程

9:30	10:30	11:00	12:30	13:30	14:00	16:30	
受付	第Ⅰ部			昼食 休憩	第Ⅱ部		
	公開授業	児童生徒下校	分科会		全体会 基調報告	基調講演	シンポジウム

第Ⅰ部<本校における教育実践の現状と課題>

公開授業・分科会

第Ⅱ部<くらし・つながり・支援を考える>

①全体会：基調報告 三木裕子（本校 研究・コーディネート部長）

②基調講演：石塚 謙二（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官）

③シンポジウム

シンポジスト：森田 安徳（吹田市立教育センター主幹・吹田市巡回コーディネーター）

乾 伊津子（大阪市職業リハビリテーションセンター所長）

三木 裕子（本校 研究・コーディネート部長）

司会：守屋 國光（大阪教育大学障害教育講座 教授）

講評：石塚 謙二（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官）

参加費

2,000円（資料代を含む）

参加申込

参加票に必要事項をご記入の上、下記まで郵送またはファックスでお申し込みください。

締切：平成17年10月20日（木）

定員になり次第締め切らせていただきます。

申込先：大阪教育大学附属養護学校 研究大会事務局

〒547-0027 大阪市平野区喜連4丁目8番71号

電話 06-6708-2580・2590

ファックス 06-6708-2380

その他

- 1 宿泊等については各自でご予約ください。
- 2 昼食については、学校周辺の飲食店をご利用ください。
- 3 駐車設備がございませんので電車、バスをご利用ください。
- 4 参加費は、当日受付にて納入願います。
- 5 個人情報保護の観点から、ビデオ・写真等の撮影はお断りいたしますのでご了承ください。

内容

◇第Ⅰ部＜本校における教育実践の現状と課題＞

1 公開授業（9：30～10：30）

学部	授 業	指 導 者	場 所
小学部	さんすう・認知グループ (10:00~10:30) グループⅠ 「からだをつかっていち・に・さんすう」 グループⅡ 「かずあそび」 グループⅢ 「かずであそぼう」 グループⅣ 「かさ」	金川 朋子・落合 高晴	集会室
		長田登起夫	小学部1組教室
		濱澤 和之・平岡 洋介	小学部2組教室
		天野ちさと・山田美也子	小学部3組教室
中学部	課題Ⅰ (9:30~10:20) Bグループ 「やりとりの基本を身につけよう」 CグループⅠ 「学校であったことを文章で伝えよう」 CグループⅡ 「学校であったことを文章で伝えよう」 Dグループ 「暮らしに生きる表現方法を獲得しよう」	道林 正世・吉村 敬治	中学部1年教室
		三木 裕子	中学部2年教室
		吉村 治・岡田 修子	中学部3年教室
		楠瀬 佳英	高等部1年教室
高等部	制作 (9:30~10:20) 印刷 「本校オリジナルグッズ を作ろう」 織物 「世界で一つのだけの布 を織ろう」 木工 「長椅子を作ろう」 農園芸 「私たちの農場 -プレゼンテーション-」	浄土寺 晃	印刷室
		住田 節子・形埜まり江	家庭科室
		大島 昇・山田 誠	木工室・農園芸室
		山本 利佳 河野 健三・紙森 栄時	会議室

2 分科会（11：00～12：30）

分科会名	提案者	指 導 ・ 助 言 者	司会者	場所
小学部	小学部教諭 長田登起夫	大阪教育大学教授 大阪教育大学教授 大沼 直樹・山本 利和	小学部教諭 山田美也子 大阪教育大学助教授 井坂 行男	体育館
中学部	中学部教諭 高田 昭夫	大阪教育大学教授 大阪教育大学助教授 糸永 和文・富永 光昭	中学部教諭 米田 幸司 大阪教育大学講師 平賀健太郎	訓練棟 1F
高等部	高等部教諭 大島 昇	大阪教育大学教授 大阪教育大学助教授 山本 晃・上村 逸子	高等部教諭 浄土寺 晃 大阪教育大学助教授 金森 裕治	会議室

◇第Ⅱ部〈くらし・つながり・支援を考える〉

全体会（13：30～13：55）

基調報告 「くらし」に生きるよりよい支援のあり方をさぐる
～「個への支援」の具体化についての実践報告～

三木 裕子（本校 研究・コーディネート部長）

基調講演（14：00～14：50）

「知的障害教育における教育課程の編成と
個のニーズに応じた支援のあり方について」

石塚 謙二（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官）

シンポジウム（15：00～16：20）

テーマ 〈くらし・つながり・支援を考える〉

【シンポジスト】

森田 安徳（吹田市立教育センター主幹・吹田市巡回コーディネーター）

乾 伊津子（大阪市職業リハビリテーションセンター所長）

三木 裕子（本校 研究・コーディネート部長）

【司 会】

守屋 國光（大阪教育大学障害教育講座 教授）

【講 評】

石塚 謙二（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官）

交通案内 大阪教育大学附属養護学校

JR大阪駅→（徒歩約5分）→地下鉄谷町線「東梅田」駅より「八尾南」方面乗車
→（約25分）→「喜連瓜破」駅下車、3番出口より東へ約150m

地図



●利用交通機関

- ①地下鉄谷町線喜連瓜破下車3番出口上る東へ50m左側
- ②市バス4号系統地下鉄喜連瓜破下車東へ150m

大阪教育大学附属養護学校
研究大会
＜参加票＞

参加希望分科会に○印をご記入ください。

参加者名	所属・連絡先（住所・電話）	参加希望分科会
		小 中 高
		小 中 高
		小 中 高

申込先： 大阪教育大学附属養護学校 研究大会事務局
〒547-0027 大阪市平野区喜連4丁目8番71号
電話 06-6708-2580・2590
ファックス 06-6708-2380

高機能自閉症者の理解と支援

～青年・成人期の支援～

講師： ^{はらまき} 服巻 ^{ともこ} 智子 氏

(NPO法人それいゆ・それいゆ自閉症支援専門家養成センター長)

日程：平成17年11月12日(土)

時間：14:00～16:30(受付13:30～)

※事前申し込みは行なっておりません。直接会場へお越しください。

会場：堺市総合福祉会館6F大ホール

会費：会員 500円 / 非会員 2000円

【服巻智子氏プロフィール】

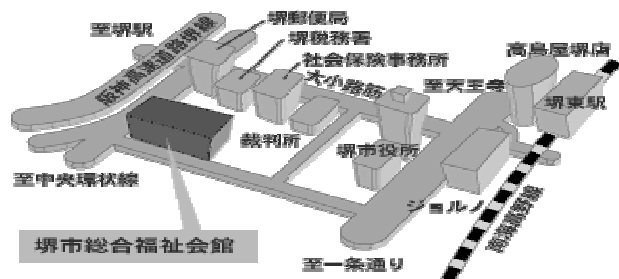
日本で始めてノースカロライナ大学TEACCH部(自閉症支援専門部門)指導者レベル & レベル トレーニングを修了。

NPO法人それいゆ「それいゆ相談センター」、「それいゆ自閉症支援専門家養成センター」等のセンター長を開設時より務める。

【会場案内】

堺市総合福祉会館 堺市南瓦町2番1号 TEL 072-222-7500

交通：南海電鉄高野線堺東駅西口から徒歩10分



【お問合せ先・TEACCHプログラム研究会大阪支部事務局】

〒569-1054 大阪府高槻市大字萩谷14-1 社会福祉法人北摂杉の子会 萩の杜
TEACCHプログラム研究会大阪支部事務局(カツベ・キヨオカ)

TEL 072(699)0099 FAX 072(699)0814

問い合わせはFAXにて、お願い致します。